

欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2021 年 6 月号掲載



日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)

1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

馬心伝心 —奮闘記part II—

佐々紫苑

Shion Sassa



馬とともに挑む馬術も競馬も、勝負には男女の区別がありません。スポーツは一般的に腕力や体格などの違いが勝敗を左右するため、性別、体重別、年齢別などに分けられることもあります。馬をパートナーとして競うことは、その違いを超えたものといえるでしょう。

私が憧れ、尊敬しているドイツの女性ライダー、イングリッド・クリムケ選手(53)は、馬場馬術、クロスカントリー、障害馬術の3種目を3日間で競う

「総合馬術」で北京・ロンドン2つのオリンピックで団体金メダルの獲得に貢献しました。特に2日目のクロスカントリーは、数⁵。(東京オリンピックは約4.5⁵)に及ぶ自然豊かなコースに配置された30を超えるさまざまな形状のフェンス(障害)を越え、池に飛び込み走り抜けるハードな競技ですが、彼女は172⁵の長身と長い脚を生かした圧巻の走りを見せてくれます。

馬のコンディション作りや3種目に関する戦略的な知識・経験も広く求められるこの競技は、まさに各国のチーム総力戦となります。暑い夏に開催される東京2020大会で、世界の一流選手と競技馬たちが繰り広げるドラマに、今からワクワクしています。



クリムケ選手53歳、現役です(©日本馬術連盟)

Let's enjoy Dressage

高田茉莉亜

Maria Takada



アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

いよいよ東京オリンピックまで1カ月を切りました！ ヨーロッパでは、馬術競技日本代表の選手たちが切磋琢磨しながら、それぞれの愛馬とともに頑張っています。

先月、フランス・コンピエーニュで馬場馬術のネーションズカップ(国別対抗戦)が行われ、日本代表としてJRA所属の北原広之選手、佐渡一毅選手、アイリッシュアラン乗馬学校所属の林伸伍選手が出場しました。日本チームは10カ国中6位入賞という成績で、個人のグランプリフリースタイル(音楽に合わせて演技をする競技)では佐渡選手がヨーロッパの強豪選手を抑え4位に入賞！ 私現地でも観戦していましたが、日本人歴代最高記録(国際大会)の76.155%を獲得した素晴らしい演技でした。

また今月にはベルギー・アセスで馬場馬術代表選考会が行われ、4月からの国際大会での成績と選考会の成績を踏まえて、先月行われたネーションズカップに出場したメンバーが見事に東京オリンピック日本代表候補として選出されました！

私も林選手のグルーム(馬のお世話をするスタッフ)として現地に行く予定です。日本チームの応援よろしくお祈いします！



①表彰式前の佐渡選手と愛馬のルードウィッヒ
②馬場馬術日本代表の3選手とチームコーチ
左から林選手、北原選手、クリストフ・コジェ
ルコーチ 佐渡選手 (写真はともに本人提供)

